

本日のワークショップでは3つのワークを行ったうえで、発表を行います。

本日のWSタイムスケジュール

時間	内容
13:30～13:35	挨拶
13:35～13:50	景観計画及び、3月に実施したアンケート結果、ワークショップのワーク内容について説明
13:50～14:30	ワーク① 「■■（場所）はどんなところが～～だから大事！」 A) 【5分・個人ワーク】町内の景観要素・場所の中から1人1つ特に大事と思う場所を選び、その場所の良さをポストイットに書き出す。 B) 【5～7分／場所・グループワーク】各自の選んだ場所について、グループ内でどんなところが良いと思うか・思っていたかを話し合い、ポストイットに書き込み、写真とともに地図に貼りこんでいく。 C) 【5分・グループワーク】グループで、選んだ場所の数等からワーク②③で対象とする地区を選ぶ。
14:30～14:50	ワーク② 「●●地区のここは改善したい！」 地区ごとの改善したい景観を話し合い、ポストイットに書き込み、地図に貼りこんでいく
14:50～15:10	ワーク③ 「●●地区の街並みキャッチフレーズを考えよう！」 大事な景観、改善したい景観などを包含しながら、各地区でどんな良さがあるかをもちに、標語を考える
15:10～15:25	発表 グループごとに「標語」「大事なところとその理由」「改善したいところ」を発表する ※グループの中で発表者を事前に決めておいてください
15:25～15:30	挨拶・閉会

JR浪江駅周辺などまちの中心部の再開発が進む今、50年後、100年後の浪江町民が誇れる街並みや眺望を守るように、浪江町は景観計画の策定を進めています

景観計画を策定する背景と目的

まちの中心部の動き

- ✓ JR浪江駅 東西地区では商業・交流・住宅施設などについて、我が国を代表する建築家を中心に優れたデザイン計画や事業が進んでいる
- ✓ 国プロジェクトとして国際的な研究教育機関の設置が決定し、事業が進んでいる
- ✓ 進出企業等と連携しながら「ゼロ・カーボンシティ」や「水素タウン構想」を掲げ、持続可能なまちづくり実現のためエネルギー地産地消の取組みを進めている

懸念点

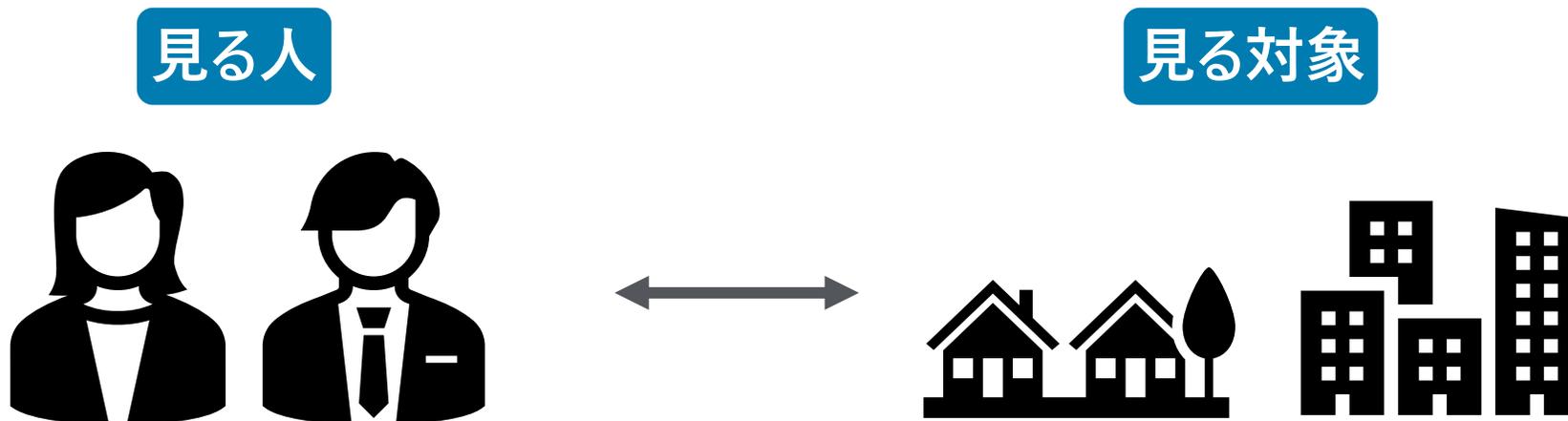
これらの先導的な事業に誘発された急速な開発圧力が高まることが推測され、現状を無為に委ねた場合、無秩序な開発整備や景観の阻害が急速に進行するのではないか？

景観計画を策定する目的

地域の特色を活かした良好な景観の保全や創造を図り、50年、100年後の浪江町民が誇りとできる「景観の町」をつくる

景観は、見る人と見る対象の相互関係で成り立つもので、「良い景観」とは「見る人が良好と感じる眺め」を指します。

景観とは



対象物だけで成り立つものではなく、対象を見る人がいることで初めて成立する

良い景観

≠

物理的に良い景観

=

見る人が良好と感じる眺め

屋外広告物等の色に関するルールをつくることで、色彩を調整し、落ちついた色合いとなっているのも景観計画などの景観行政の効果です。

景観づくりの効果

通常の屋外広告物



景観に配慮した
屋外広告物



通常の屋外広告物



景観に配慮した
屋外広告物



出所：読売新聞オンライン

<https://www.yomiuri.co.jp/pluralphoto/20210422-OYT1I50132/>

出所：良好な景観まちづくりがもたらす効果パンフレット（平成28年3月）国土交通省

https://www.mlit.go.jp/toshi/townscape/toshi_townscape_tk_000041.html

出所：ダイヤモンドオンライン

<https://diamond.jp/articles/-/233061>

壁面の色や素材、建物の形のルールをつくることで、建て替え時に周囲のまちなみと調和した建物をつくっていくことに繋がります。

景観づくりの効果

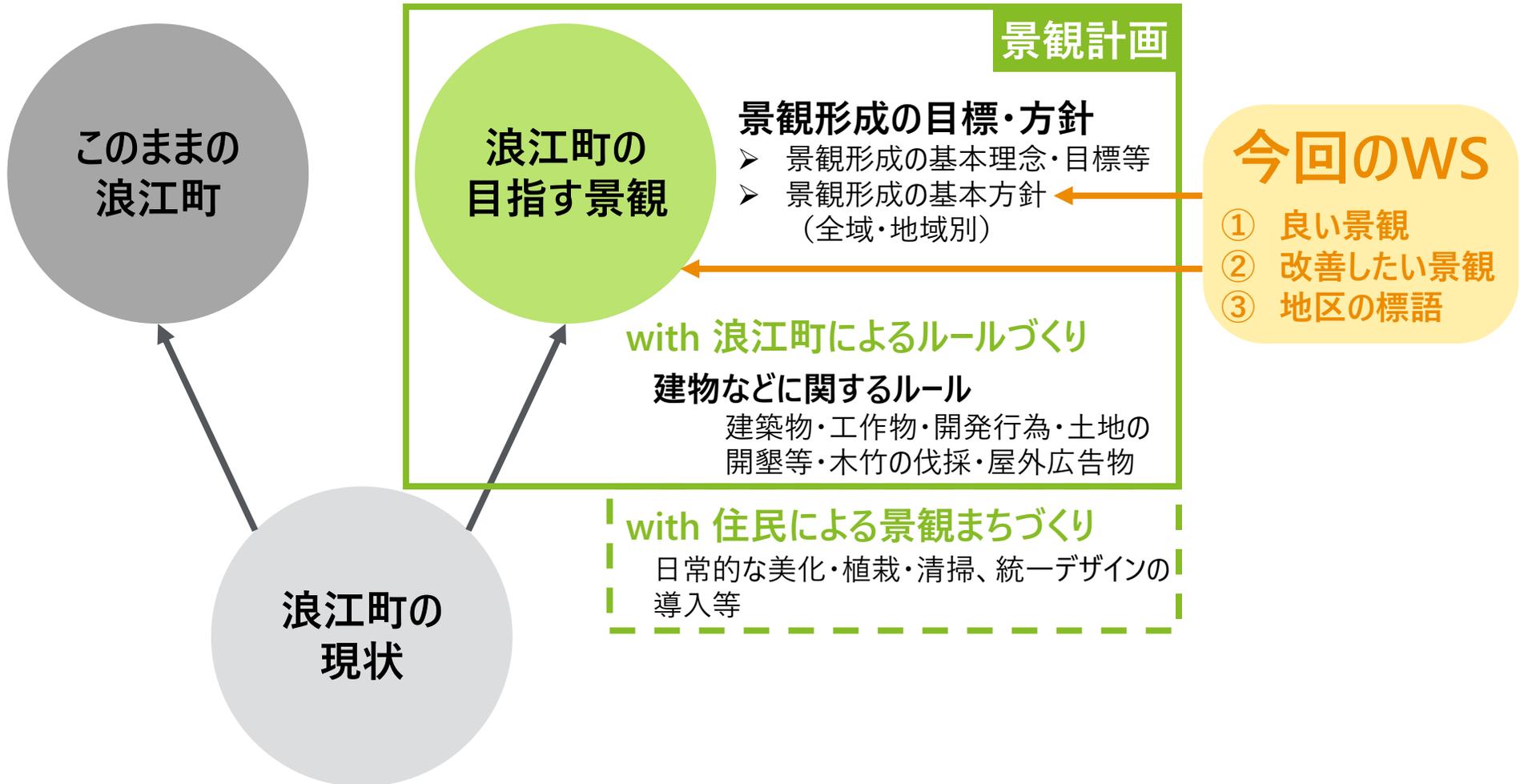


出所：良好な景観まちづくりがもたらす効果パンフレット（平成28年3月）国土交通省

https://www.mlit.go.jp/toshi/townscape/toshi_townscape_tk_000041.html

景観計画は、実現したい浪江町の姿の方針と、その実現に向けたルールをまとめたものです。
今回のWSでのご意見は、浪江町の目指す景観や景観形成の基本方針に反映します。

景観計画の概要と今回のWSの結果の反映



2024年3月に実施したアンケートでは114人の様々な属性の方からの回答をいただき、景観計画に反映すべき意見をいただけています。

アンケート結果の活かし方

景観計画への反映

景観類型ごとの
思い出・好きな理由・浪江らしい理由 ▶ 浪江町の概要（景観類型ごとの特徴把握）への反映

思い出の場所・好きな場所・浪江らしい場所 ▶ 浪江町の景観要素への反映

アンケート結果（サマリ） 1/3

アンケート実施概要

期間	2024年3月1日～3月31日
実施方法	WEB上のアンケート
回答者数	114人
広報方法	広報誌、町公式SNS（X, FB）、ポスター等

回答者属性

様々な属性・年代の方から意見を伺うことができている

- ✓ 震災以前も現在も居住している方、移住者、避難者、町外在住で町内に勤務している人等様々な居住状況の方からの回答を収集
- ✓ 居住経験地区としては浪江地区が多いものの、全地区の方からの回答を得られている
- ✓ 年代としても、10代と80代以上は少ないものの、他の年代は各年代ともに満遍なく回答をいただけている

景観づくりの方向性

- ✓ 「自然環境や自然の風景」を大切にすべきとの意見が最も多く、続いて「新しい産業や文化を感じられる風景」。各類型とも意識することが必要だが、特に自然景観を重視しての景観計画が必要。

場所に関する思い出・好きな理由・浪江らしさは類型ごとに分析し、景観類型ごとの特徴把握として景観計画への反映を行います。

アンケート結果（サマリ） 2/3

景観類型ごとの特徴把握：景観計画への反映

自然景観

- 全体のトップ10のうち5つを思い出のある場所・好きな場所、浪江らしい場所の双方で占めており、浪江町の景観として特に重要性が高い。場所としては海の町というイメージで請戸海岸を上げる方が多い。全体としては、日常的な景色への感動・心地よさ、イベントで訪れた思い出への言及があるとともに、中には町の景観との複合的な良さについても回答もある。

歴史的・文化的景観

- 全体として場所をあげる方は多くはないが、伝統産業としての評価がある大堀の登り窯や、「城攻め（掃除）」を多くの人と行った記憶のある権現堂城址が両方で挙げられている。特徴的な意見として、大聖寺については視覚的景観が除夜の鐘の聴覚的経験とともに記憶されている景観もあり。

市街地景観

- 新町通り商店街が双方で多く挙げられている。日常的な買い物、十日市等のイベントでの来訪、などの記憶が言及されている。さらに駅前通りについては具体的な店舗名があげられ、過ごした濃い記憶が回答されている。

活動景観

- 十日市と相馬野馬追が思い出のある場所・好きな場所、浪江らしい場所の双方で多くあげられ、特に十日市は両者で全体のトップ。楽しみにする伝統行事であることが特徴としてあげられるとともに、出店した側などとしての経験も出ている。さらには震災後の再開の場としての重要性の指摘もあり。十日市を筆頭に自然景観に並び重要性の高い景観類型と考えられる。

施設景観

- サンプラザや浪江駅などの日常的に使っていた場所や、請戸漁港などがあげられ、活気のあった様子などの思い出があるとともに、浪江らしさを感じている。また、道の駅なみえについても現在の浪江町の復興・活気を象徴する場所としてあげられており、活気のある様子、そこでの楽しい体験を重要視していると思われる。

眺望景観

- 回答として現れる数は多くはないものの、遠景としての阿武隈山系は町内各地ともに安心感を覚える景観として回答がある。また建物の低さによる市街地と自然の双方が視野に収められる点や、空の広さ等見る対象については自然を含む言及がある。さらに眺望点としては海や請戸を眺められる大平山、無電柱化されて広々とした見通しの国道114号などがあげられる。

ワーク① 40分（～14:30）

「●●（場所）はどんなところが～～だから大事！」

A) 町内の景観要素・場所の中から1人1つ特に大事と思う場所を選び、その場所の良さをポストイットに書き出す。【5分・個人ワーク】

- ✓ テーブルの上の写真から、浪江町内の大事だと思う景観要素を選ぶ。
- ✓ その場所の良さを個人でポストイットに書き出す。（1つの要素を1つのポストイットに）

B) 各自の選んだ場所について、グループ内でどんなところが良いと思うか・思っていたかを話し合い、ポストイットに書き込み、写真とともに地図に貼りこんでいく。【5～7分／場所・グループワーク】

- ✓ 自己紹介（名前・出身地や馴染みのある場所・選んだ場所とその理由）（30秒／人）
- ✓ それぞれの人が選んだ場所について、どんなところが良いと思っているか・思っていたかを話し合い、ポストイットに書き込む。（5分／場所）

C) ワーク②③で対象とする地区を選ぶ。（選んだ場所／馴染みのある場所等をもとに）【5分・グループワーク】

ワーク② 20分（～14:50）

「●●地区のここは改善したい！」

A) 地区の中で改善したいと思う景観要素を考え、ポストイットに書き込む 【5分・個人ワーク】

- ✓ 場所名などとともに、改善したいと思う場所・景観をポストイットに記載する

B) 選んだ地区の改善したいと思う景観要素について話し合い、ポストイットに書き込み、地図に貼りつけていく【15分・グループワーク】

- ✓ 自身が書いた内容を発表しながら、地区の中で改善したいと思う景観要素について話し合い、具体的なスポット名とともになんで改善したいかをポストイットに書き込む（15分）

ワーク③ 20分（～15:10）

「●●地区の街並みキャッチフレーズを考えよう！」

ワーク①ワーク②で話し合った、地区ごとの大事な景観要素とその理由、改善したい景観要素をもとにその地区がどんな良さがあり、将来的にどんな景観を目指すべきか標語を考える

発表 各グループ5分（～15:25）

ワーク①～③で話し合った内容を全体に向けて共有する

グループごとに「標語」「大事な景観要素」「改善したい景観要素」を全体に向けて発表し、共有